

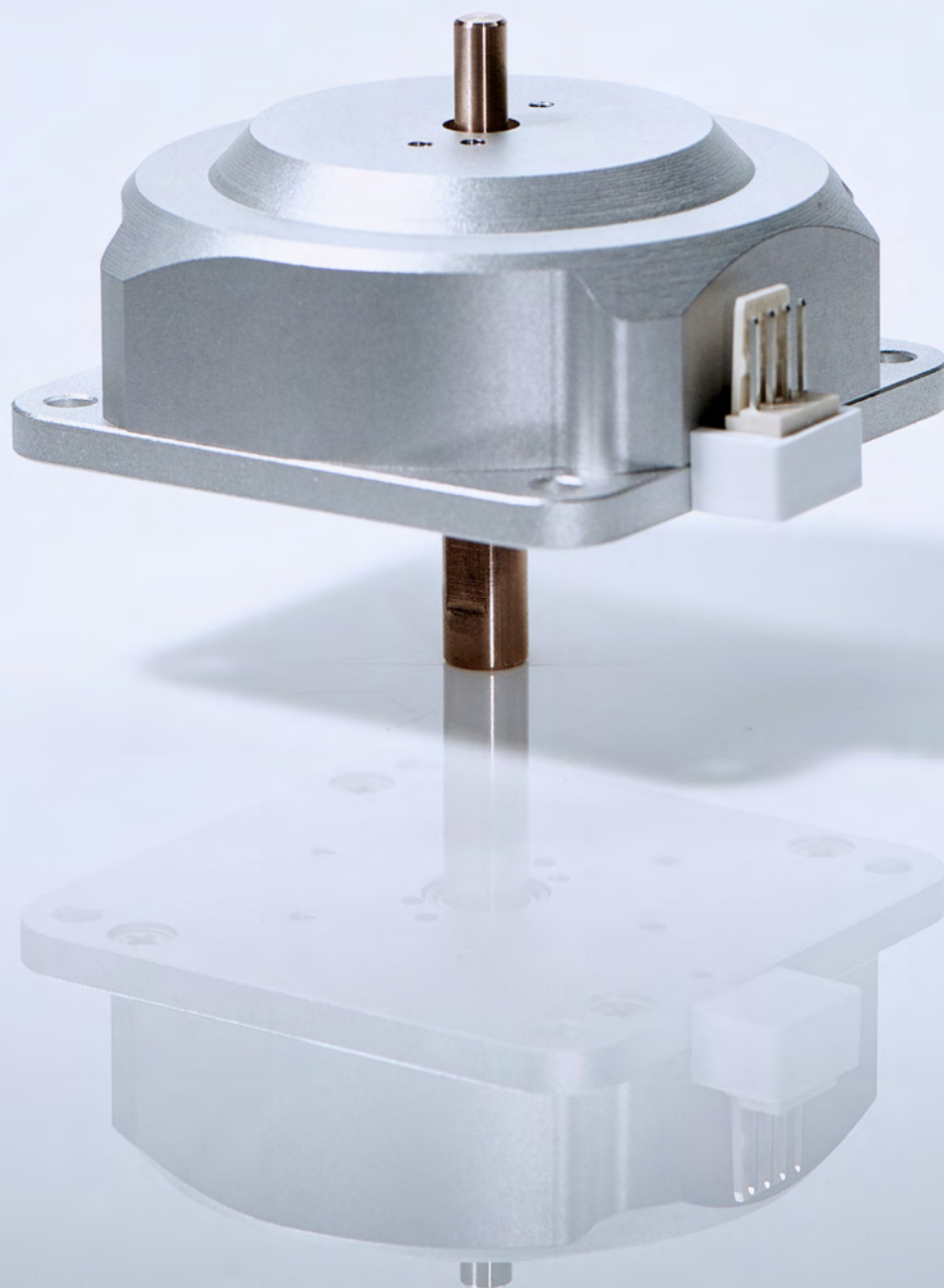


PIEZO SONIC MOTOR

超音波モータカタログ

ピエゾソニック モータ

小型・高トルク・電力ゼロで姿勢保持・磁場環境で利用可能



小さなボディから生まれる、 大きなエネルギー。

20年以上研究・開発を続けている超音波モータのエンジニアにより、長寿命化・高トルク化という超音波モータの持つ相反する2つの課題の解決に取り組んでいます。

その結果、従来の超音波モータと比べ長寿命化に成功し、その技術は国内の学会より賞を賜りました。(特許取得済)

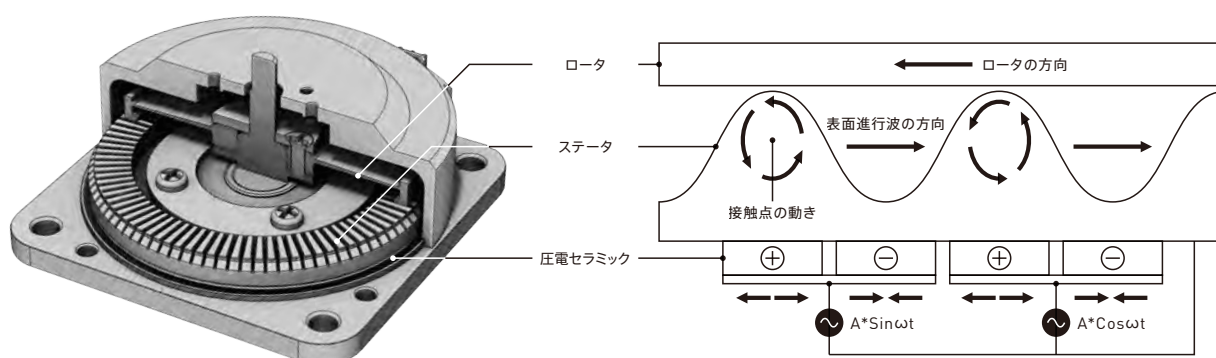
高精度・非磁性・高トルクが求められる半導体製造装置用ステージや各種位置決め装置に最適な超音波モータを開発しております。

また、原理が難しいとされる超音波モータの駆動回路についても精通しており、応答性、制御特性に優れた駆動回路を持つドライバも開発しております。

PIEZO SONIC MOTOR

ピエゾソニック モータとは

ピエゾソニック モータ(高トルク型 超音波モータ)は磁石やコイルを利用せず、圧電セラミックを振動させ、そのエネルギーを駆動力としています。摩擦を利用して回転するため、小型・軽量でありながら同サイズの DCモータと比べ約5倍～10倍の高トルクを発揮するモータです。駆動源にコイルや磁石を利用しないため、非磁性モータを構築することができ、MRI内などの高磁場環境や磁場の影響をきらう半導体製造装置内などで安心してご利用いただけます。また、非通電、非制御で姿勢・状態を保持することができ、バックラッシュがないために装置のダイレクトドライブによる高精度な位置制御が可能です。起動、静止の応答性も高く、ステージなどの搬送装置や カメラの雲台、ジンバル、割り出し装置、多関節ロボットの関節用のモータとして最適です。



他方式のモータとの比較

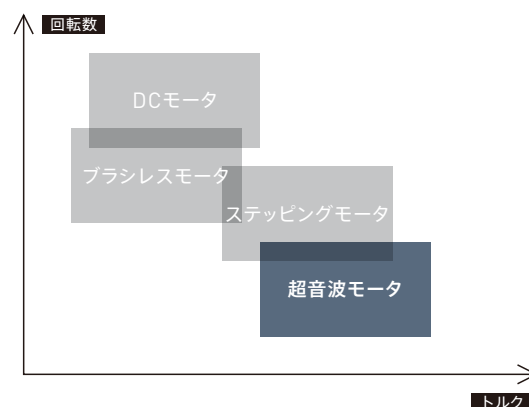
小型・静音・高トルク、電力ゼロで姿勢保持が可能。

回転数・トルク

同サイズの超音波モータ、DC モータ、ブラシレスモータ、ステッピングモータのトルクと回転数の関係にフォーカスした領域図です。

超音波モータは他のモータに比べ、低速・高トルクという特徴を持ちます。

摩擦力により非制御時でも高保持力を維持でき、バックラッシュもないため、ギアを使わないダイレクトドライブのアクチュエータシステムを構築することが可能です。



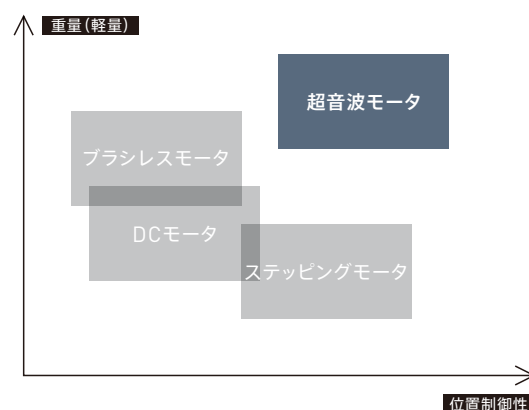
重量・位置制御

同サイズの超音波モータ、DC モータ、ブラシレスモータ、ステッピングモータの位置制御性と重量(軽量)の関係にフォーカスした領域図です。

超音波モータは他のモータに比べ、軽量で高い位置制御性を有するという特徴を持ちます。

回転部の重量が軽いためイナーシャが小さく、駆動信号が停止すると瞬時に摩擦力により静止するため、精密な位置決めが可能です。

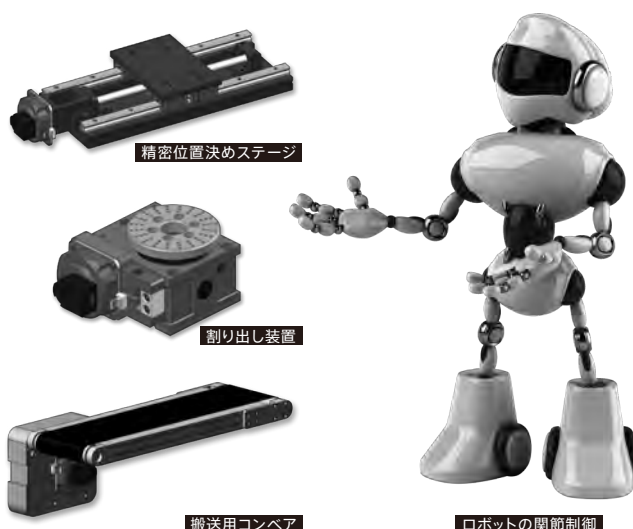
※最終的な位置決め精度は外部のセンサ:エンコーダやポテンシオメータと制御コントローラに依存します。



超音波モータの活用例

一般・磁場環境用搬送装置、ロボット用アクチュエータ

- オフィス等で利用可能な小型の搬送装置
- オフィス等で利用可能な小型の仕分け・分配装置
- 監視、記録カメラのための静音移動装置
- 姿勢制御のためのジンバル装置
- 医療機器 CT・MRI 内での搬送用・駆動用モータ
- 微細制御が可能なロボットアーム
- 強放射線環境での駆動用モータ
- 真空環境用モータ(宇宙環境等)



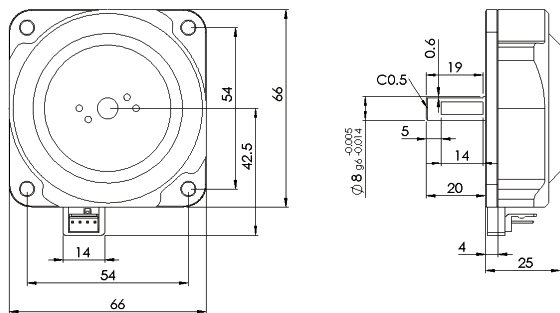
PSM60S-A



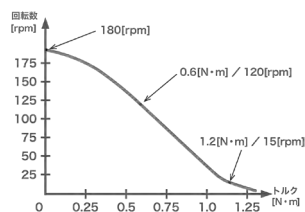
一般環境用センサレス片軸モータ

PSM60Sシリーズで最小サイズ。

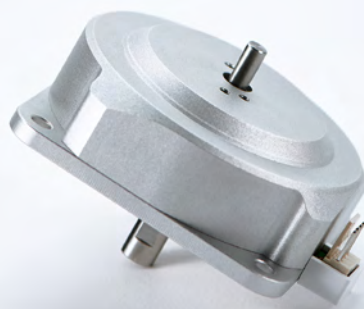
組み込み対象装置に搭載されたセンサを利用した位置決めや、タイマーによる間欠動作用モータとして最適です。



製品名	片軸モータ PSM60S-A
駆動周波数	40~45 [KHz]
駆動電圧	130 [Vrms]
定格回転数	120 [rpm]
最大回転数	180 [rpm]
定格トルク	0.6 [N・m]
最大トルク	1.2 [N・m]
非通電時保持トルク	1.2 [N・m]
回転方向と応答性	CW, CCW, 応答性1 [ms]以下 (慣性負荷なし)
使用温度範囲	-10 ~ +55 [°C]
耐久時間	3,000 [Hours]
サイズ(W×D×H)	66×66×45 [mm]
質量	230 [g]
エンコーダ分解能	非搭載 片軸
最小位置決め精度	外部センサに依存



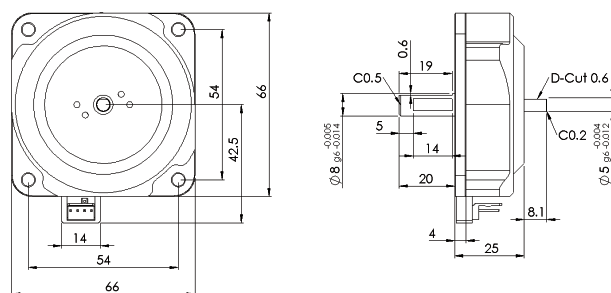
PSM60S-B



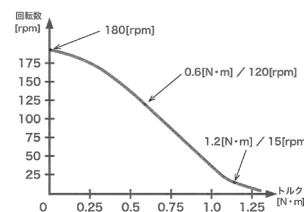
一般環境用センサレス両軸モータ

他社製外部センサをモータに直接装着するためのサブシャフトを有しています。

エンコーダやタコジェネレータを利用した制御が可能になります。



製品名	両軸モータ PSM60S-B
駆動周波数	40~45 [KHz]
駆動電圧	130 [Vrms]
定格回転数	120 [rpm]
最大回転数	180 [rpm]
定格トルク	0.6 [N・m]
最大トルク	1.2 [N・m]
非通電時保持トルク	1.2 [N・m]
回転方向と応答性	CW, CCW, 応答性1 [ms]以下 (慣性負荷なし)
使用温度範囲	-10 ~ +55 [°C]
耐久時間	3,000 [Hours]
サイズ(W×D×H)	66×66×53 [mm]
質量	233 [g]
エンコーダ分解能	非搭載 両軸
最小位置決め精度	外部センサに依存



一般環境用モータ PSM60S SERIES

for GENERAL ENVIRONMENT

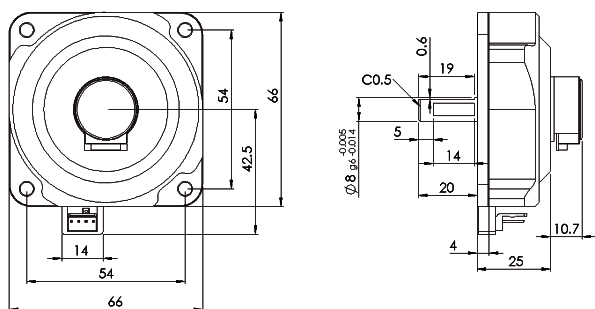
APPEARANCE / FEATURES

PSM60S-E



一般環境用500p/rエンコーダ付モータ
1周で500パルスのTTL出力のエンコーダを装備。
±0.18°(4通[てい]倍時)の精度でモータの位置・速度制御が可能です。
ボールネジを利用した搬送装置用モータとして最適です。

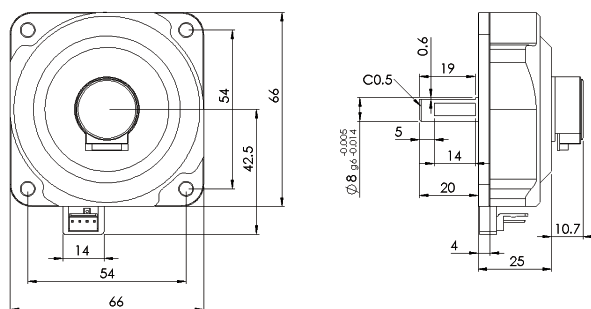
DESIGN



PSM60S-ET

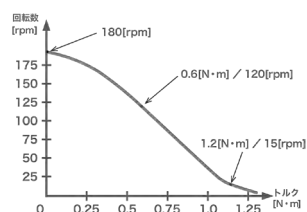


一般環境用1,000p/rエンコーダ付モータ
1周で1,000パルスのTTL出力のエンコーダを装備。
±0.09°(4通[てい]倍時)の精度でモータの位置・速度制御が可能です。高精度位置決めステージなどの搬送装置用モータとして最適です。

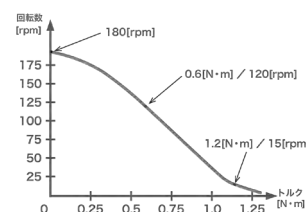


SPEC

製品名	エンコーダ付500p/rモータ PSM60S-E
駆動周波数	40~45 [KHz]
駆動電圧	130 [Vrms]
定格回転数	120 [rpm]
最大回転数	180 [rpm]
定格トルク	0.6 [N・m]
最大トルク	1.2 [N・m]
非通電時保持トルク	1.2 [N・m]
回転方向と応答性	CW, CCW, 応答性1 [ms]以下(慣性負荷なし)
使用温度範囲	-10 ~ +55 [°C]
耐久時間	3,000 [Hours]
サイズ(W×D×H)	66×66×56 [mm]
質量	240 [g]
エンコーダ分解能	500 [p/r]
最小位置決め精度	0.18°



製品名	エンコーダ付1,000p/rモータ PSM60S-ET
駆動周波数	40~45 [KHz]
駆動電圧	130 [Vrms]
定格回転数	120 [rpm]
最大回転数	180 [rpm]
定格トルク	0.6 [N・m]
最大トルク	1.2 [N・m]
非通電時保持トルク	1.2 [N・m]
回転方向と応答性	CW, CCW, 応答性1 [ms]以下(慣性負荷なし)
使用温度範囲	-10 ~ +55 [°C]
耐久時間	3,000 [Hours]
サイズ(W×D×H)	66×66×56 [mm]
質量	240 [g]
エンコーダ分解能	1,000 [p/r]
最小位置決め精度	0.09°



一般環境用モータ PSM60S SERIES

for GENERAL ENVIRONMENT

磁場環境用モータ PSM60N SERIES

for MAGNETIC ENVIRONMENT

PSM60S-E2T

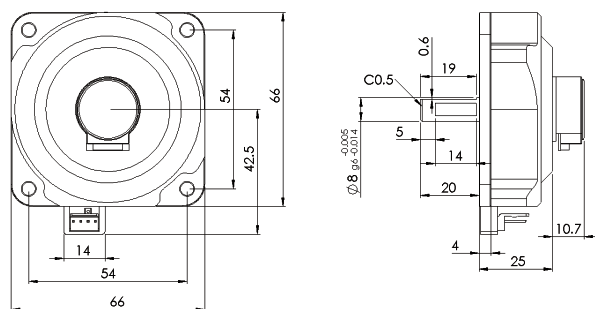


一般環境用2,000p/rエンコーダ付モータ

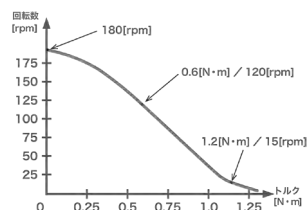
1周で2,000パルスのTTL出力のエンコーダを装備。

±0.045° (4通(てい)倍時)の精度でモータの位置・速度制御が可能です。

超高精度な割り出し装置用モータとして最適です。



製品名	エンコーダ付2,000p/rモータ PSM60S-E2T
駆動周波数	40~45 [KHz]
駆動電圧	130 [Vrms]
定格回転数	120 [rpm]
最大回転数	180 [rpm]
定格トルク	0.6 [N・m]
最大トルク	1.2 [N・m]
非通電時保持トルク	1.2 [N・m]
回転方向と応答性	CW, CCW, 応答性1 [ms]以下(慣性負荷なし)
使用温度範囲	-10 ~ +55 [°C]
耐久時間	3,000 [Hours]
サイズ(W×D×H)	66×66×56 [mm]
質量	240 [g]
エンコーダ分解能	2,000 [p/r]
最小位置決め精度	0.045°



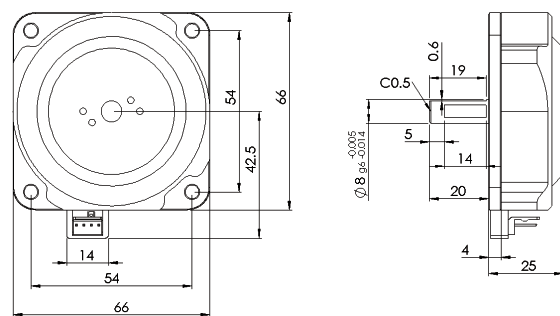
PSM60N-A



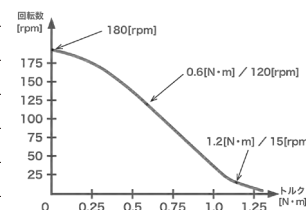
磁場環境用センサレス片軸モータ

3 [T]の磁場環境に対応。PSM60Nシリーズで最小サイズ。

MRIや元素分析機など、強磁場環境内で利用する装置に搭載されたセンサを利用した位置決めや搬送用モータとして最適です。



製品名	片軸モータ PSM60N-A
駆動周波数	40~45 [KHz]
駆動電圧	130 [Vrms]
定格回転数	120 [rpm]
最大回転数	180 [rpm]
定格トルク	0.6 [N・m]
最大トルク	1.2 [N・m]
非通電時保持トルク	1.2 [N・m]
回転方向と応答性	CW, CCW, 応答性1 [ms]以下(慣性負荷なし)
使用温度範囲	-10 ~ +55 [°C]
耐久時間	3,000 [Hours]
サイズ(W×D×H)	66×66×45 [mm]
質量	230 [g]
エンコーダ分解能	非搭載 片軸
最小位置決め精度	外部センサに依存



磁場環境用モータ PSM60N SERIES

for MAGNETIC ENVIRONMENT

APPEARANCE / FEATURES

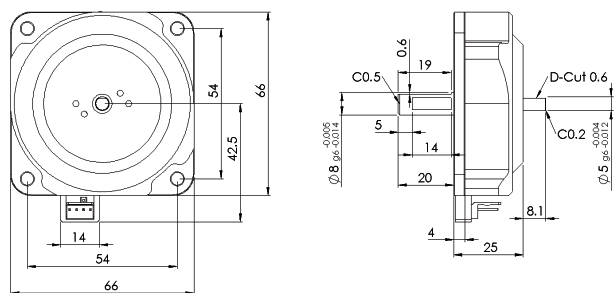
PSM60N-B



磁場環境用センサレス両軸モータ

他社製外部センサをモータに直接装着するためのサブシャフトを有しています。

磁場環境での利用に対応した他社製エンコーダやタコジェネレータを利用した制御が可能になります。



PSM60N-E

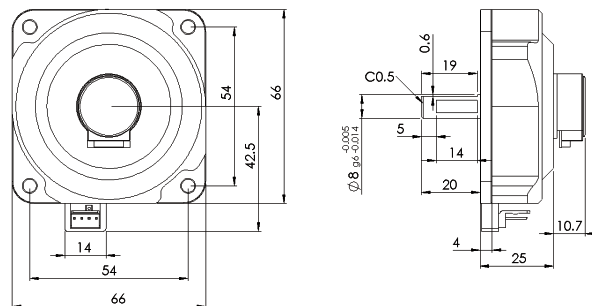


磁場環境用500p/rエンコーダ付モータ

1周で500パルスのTTL出力のエンコーダを装備。

3[T]の磁場環境で±0.18°(4通(てい)倍時)の精度でモータの位置・速度制御が可能です。

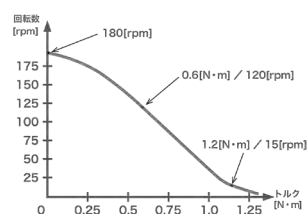
ボールネジを利用した搬送装置用モータとして最適です。



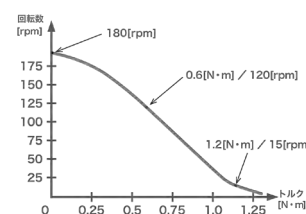
DESIGN

SPEC

製品名	両軸モータ PSM60N-B
駆動周波数	40~45 [KHz]
駆動電圧	130 [Vrms]
定格回転数	120 [rpm]
最大回転数	180 [rpm]
定格トルク	0.6 [N・m]
最大トルク	1.2 [N・m]
非通電時保持トルク	1.2 [N・m]
回転方向と応答性	CW, CCW、応答性1 [ms]以下(慣性負荷なし)
使用温度範囲	-10 ~ +55 [°C]
耐久時間	3,000 [Hours]
サイズ(W×D×H)	66×66×53 [mm]
質量	233 [g]
エンコーダ分解能	非搭載 両軸
最小位置決め精度	外部センサに依存



製品名	エンコーダ付500p/rモータ PSM60N-E
駆動周波数	40~45 [KHz]
駆動電圧	130 [Vrms]
定格回転数	120 [rpm]
最大回転数	180 [rpm]
定格トルク	0.6 [N・m]
最大トルク	1.2 [N・m]
非通電時保持トルク	1.2 [N・m]
回転方向と応答性	CW, CCW、応答性1 [ms]以下(慣性負荷なし)
使用温度範囲	-10 ~ +55 [°C]
耐久時間	3,000 [Hours]
サイズ(W×D×H)	66×66×56 [mm]
質量	240 [g]
エンコーダ分解能	500 [p/r]
最小位置決め精度	0.18°



磁場環境用モータ PSM60N SERIES

for MAGNETIC ENVIRONMENT

PSM60N-ET

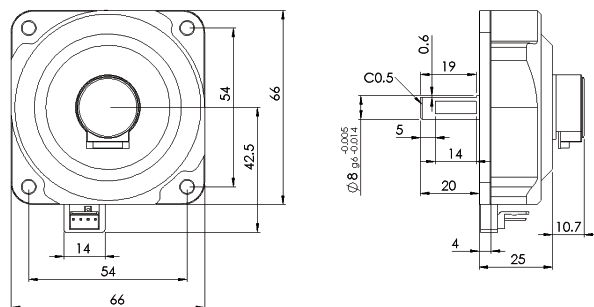


磁場環境用1,000p/rエンコーダ付モータ

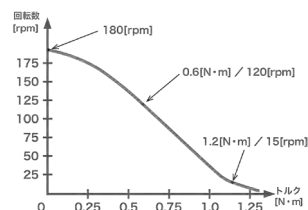
1周で1,000パルスのTTL出力のエンコーダを装備。

3[T]の磁場環境で $\pm 0.09^\circ$ (4通(てい)倍時)の精度でモータの位置・速度制御が可能です。

MRI内や半導体製造装置で利用される高精度位置決めステージなどの搬送装置用モータとして最適です。



製品名	エンコーダ付1,000p/rモータ PSM60N-ET
駆動周波数	40~45 [KHz]
駆動電圧	130 [Vrms]
定格回転数	120 [rpm]
最大回転数	180 [rpm]
定格トルク	0.6 [N・m]
最大トルク	1.2 [N・m]
非通電時保持トルク	1.2 [N・m]
回転方向と応答性	CW, CCW, 応答性1 [ms]以下(慣性負荷なし)
使用温度範囲	-10 ~ +55 [°C]
耐久時間	3,000 [Hours]
サイズ(W×D×H)	66×66×56 [mm]
質量	240 [g]
エンコーダ分解能	1,000 [p/r]
最小位置決め精度	0.09°



PSM60N-E2T

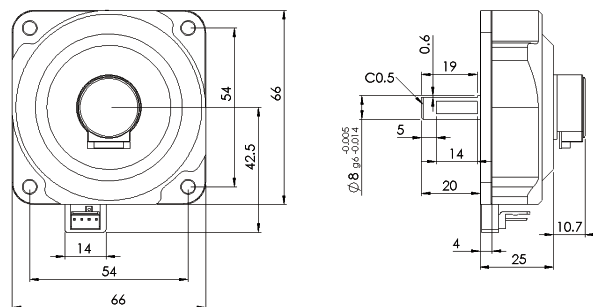


磁場環境用2,000p/rエンコーダ付モータ

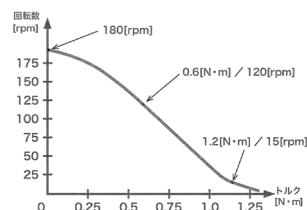
1周で2,000パルスのTTL出力のエンコーダを装備。

3[T]の磁場環境で $\pm 0.045^\circ$ (4通(てい)倍時)の精度でモータの位置・速度制御が可能です。

MRI内や半導体製造装置で利用される超高精度な割り出し装置用モータとして最適です。



製品名	エンコーダ付2,000p/rモータ PSM60N-E2T
駆動周波数	40~45 [KHz]
駆動電圧	130 [Vrms]
定格回転数	120 [rpm]
最大回転数	180 [rpm]
定格トルク	0.6 [N・m]
最大トルク	1.2 [N・m]
非通電時保持トルク	1.2 [N・m]
回転方向と応答性	CW, CCW, 応答性1 [ms]以下(慣性負荷なし)
使用温度範囲	-10 ~ +55 [°C]
耐久時間	3,000 [Hours]
サイズ(W×D×H)	66×66×56 [mm]
質量	240 [g]
エンコーダ分解能	2,000 [p/r]
最小位置決め精度	0.045°



一般環境用モータ PSM40S SERIES

for GENERAL ENVIRONMENT

APPEARANCE / FEATURES

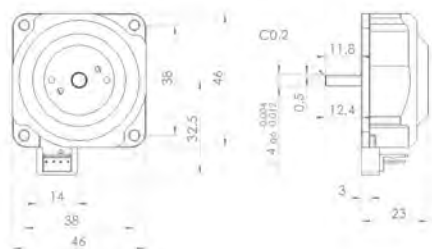
PSM40S-A



一般環境用センサレス片軸小型モータ

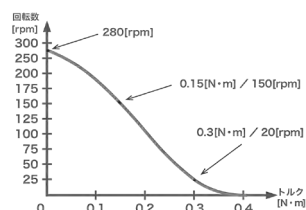
PSM40Sシリーズで最小サイズ。

組み込み対象装置に搭載されたセンサを利用した位置決めや、タイマーによる間欠動作用モータとして最適です。



※ モータベース側に3-M3 PCDφ28 深さ3.5mmの取付けネジ穴あり

製品名	片軸モータ PSM40S-A
駆動周波数	52～58 [KHz]
駆動電圧	130 [Vrms]
定格回転数	150[rpm]
最大回転数	250[rpm]
定格トルク	0.15 [N・m]
最大トルク	0.3 [N・m]
非通電時保持トルク	0.3 [N・m]
回転方向と応答性	CW、CCW、応答性1 [ms]以下(慣性負荷なし)
使用温度範囲	-10～+55 [°C]
耐久時間	3,000 [Hours]
サイズ(W×D×H)	46×46×35.5 [mm]
質量	83 [g]
エンコーダ分解能	非搭載 片軸
最小位置決め精度	外部センサに依存



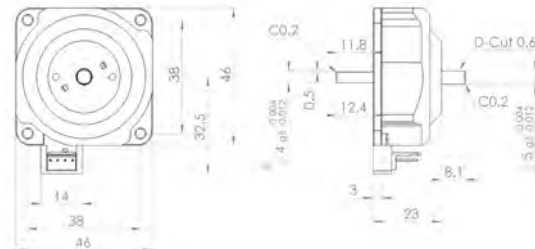
PSM40S-B



一般環境用センサレス両軸小型モータ

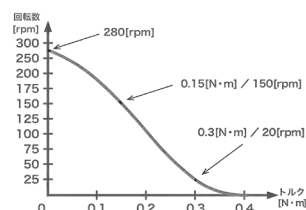
他社製外部センサをモータに直接装着するためのサブシャフトを有しています。

エンコーダやタコジェネレータを利用した制御が可能になります。



※ モータベース側に3-M3 PCDφ28 深さ3.5mmの取付けネジ穴あり

製品名	両軸モータ PSM40S-B
駆動周波数	52～58 [KHz]
駆動電圧	130 [Vrms]
定格回転数	150[rpm]
最大回転数	250[rpm]
定格トルク	0.15 [N・m]
最大トルク	0.3 [N・m]
非通電時保持トルク	0.3 [N・m]
回転方向と応答性	CW、CCW、応答性1 [ms]以下(慣性負荷なし)
使用温度範囲	-10～+55 [°C]
耐久時間	3,000 [Hours]
サイズ(W×D×H)	46×46×43.5 [mm]
質量	84 [g]
エンコーダ分解能	非搭載 両軸
最小位置決め精度	外部センサに依存

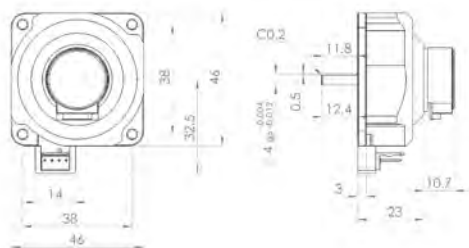


※PSM40 シリーズは受注生産となります。

PSM40S-E

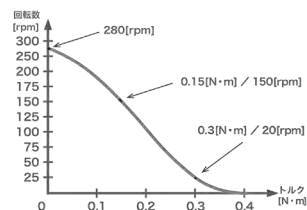


一般環境用500p/rエンコーダ付小型モータ
1周で500パルスのTTL出力のエンコーダを装備。
±0.18° (4通[てい]倍時)の精度でモータの位置・速度制御が可能です。
ボールネジを利用した小型搬送装置用モータとして最適です。



※ モータベース側に3-M3 PCDφ28 深さ3.5mmの取付けネジ穴あり

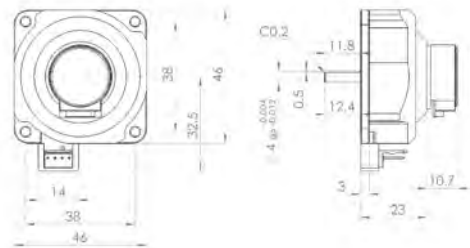
製品名	エンコーダ付500p/rモータ PSM40S-E
駆動周波数	52~58 [KHz]
駆動電圧	130 [Vrms]
定格回転数	150[rpm]
最大回転数	250[rpm]
定格トルク	0.15 [N・m]
最大トルク	0.3 [N・m]
非通電時保持トルク	0.3 [N・m]
回転方向と応答性	CW, CCW, 応答性1 [ms]以下 (慣性負荷なし)
使用温度範囲	-10 ~ +55 [°C]
耐久時間	3,000 [Hours]
サイズ(W×D×H)	46×46×46 [mm]
質量	90[g]
エンコーダ分解能	500 [p/r]
最小位置決め精度	0.18°



PSM40S-ET

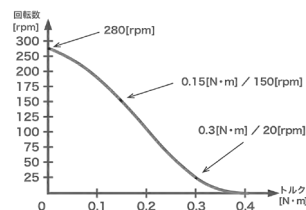


一般環境用1,000p/rエンコーダ付小型モータ
1周で1,000パルスのTTL出力のエンコーダを装備。
±0.09° (4通[てい]倍時)の精度でモータの位置・速度制御が可能です。高精度位置決めステージなどの小型搬送装置用モータとして最適です。



※ モータベース側に3-M3 PCDφ28 深さ3.5mmの取付けネジ穴あり

製品名	エンコーダ付1,000p/rモータ PSM40S-ET
駆動周波数	52~58 [KHz]
駆動電圧	130 [Vrms]
定格回転数	150[rpm]
最大回転数	250[rpm]
定格トルク	0.15 [N・m]
最大トルク	0.3 [N・m]
非通電時保持トルク	0.3 [N・m]
回転方向と応答性	CW, CCW, 応答性1 [ms]以下 (慣性負荷なし)
使用温度範囲	-10 ~ +55 [°C]
耐久時間	3,000 [Hours]
サイズ(W×D×H)	46×46×46 [mm]
質量	90[g]
エンコーダ分解能	1,000 [p/r]
最小位置決め精度	0.09°



※PSM40 シリーズは受注生産となります。

一般環境用モータ PSM40S SERIES

for GENERAL ENVIRONMENT

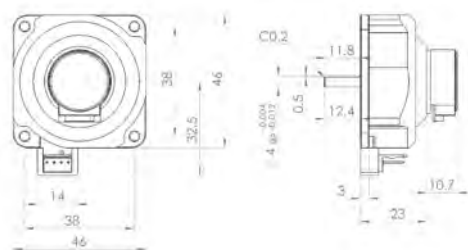
磁場環境用モータ PSM40N SERIES

for MAGNETIC ENVIRONMENT

PSM40S-E2T



一般環境用2,000p/rエンコーダ付小型モータ
1周で2,000パルスのTTL出力のエンコーダを装備。
±0.045°(4通(てい)倍時)の精度でモータの位置・速度制御
が可能です。
高精度な割り出し装置用モータとして最適です。

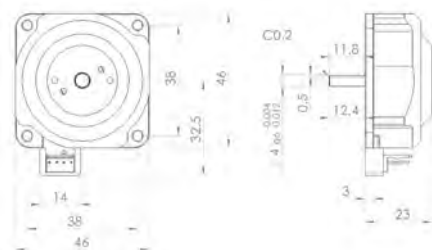


※ モータベース側に3-M3 PCDφ28 深さ3.5mmの取付けネジ穴あり

PSM40N-A

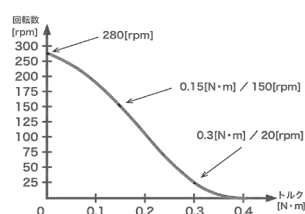


磁場環境用センサレス片軸小型モータ
3[T]の磁場環境に対応。PSM40Nシリーズで最小サイズ。
MRIや元素分析機など強磁場環境内で利用する装置に
搭載されたセンサを利用した位置決めや搬送用モータ
として最適です。

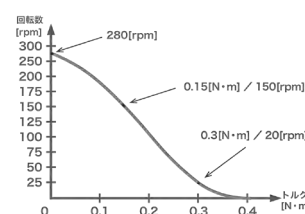


※ モータベース側に3-M3 PCDφ28 深さ3.5mmの取付けネジ穴あり

製品名	エンコーダ付2,000p/rモータ PSM40S-E2T
駆動周波数	52~58 [KHz]
駆動電圧	130 [Vrms]
定格回転数	150[rpm]
最大回転数	250[rpm]
定格トルク	0.15 [N・m]
最大トルク	0.3 [N・m]
非通電時保持トルク	0.3 [N・m]
回転方向と応答性	CW、CCW、応答性1 [ms]以下(慣性負荷なし)
使用温度範囲	-10 ~ +55 [°C]
耐久時間	3,000 [Hours]
サイズ(W×D×H)	46×46×46 [mm]
質量	90[g]
エンコーダ分解能	2,000[p/r]
最小位置決め精度	0.045°



製品名	片軸モータ PSM40N-A
駆動周波数	52~58 [KHz]
駆動電圧	130 [Vrms]
定格回転数	150[rpm]
最大回転数	250[rpm]
定格トルク	0.15 [N・m]
最大トルク	0.3 [N・m]
非通電時保持トルク	0.3 [N・m]
回転方向と応答性	CW、CCW、応答性1 [ms]以下(慣性負荷なし)
使用温度範囲	-10 ~ +55 [°C]
耐久時間	3,000 [Hours]
サイズ(W×D×H)	46×46×35.5 [mm]
質量	83 [g]
エンコーダ分解能	非搭載 片軸
最小位置決め精度	外部センサに依存



※PSM40 シリーズは受注生産となります。

磁場環境用モータ PSM40N SERIES

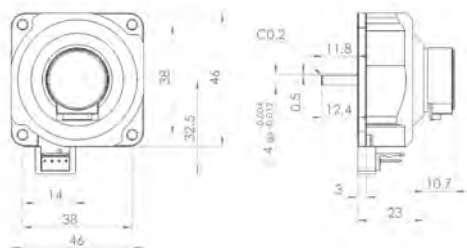
for MAGNETIC ENVIRONMENT

APPEARANCE / FEATURES

PSM40N-ET

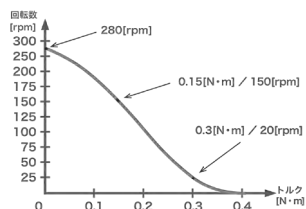


磁場環境用1,000p/rエンコーダ付小型モータ
1周で1,000パルスのTTL出力のエンコーダを装備。
3[T]の磁場環境で $\pm 0.09^\circ$ (4通[てい]倍時)の精度でモータの位置・速度制御が可能です。
MRI内や半導体製造装置で利用される高精度位置決めステージなどの小型搬送装置用モータとして最適です。



※ モータベース側に3-M3 PCD ϕ 28 深さ3.5mmの取付けネジ穴あり

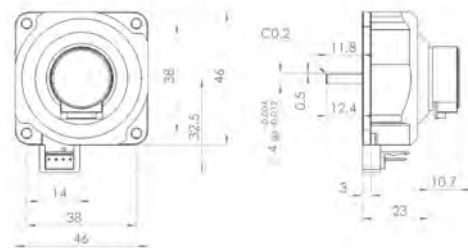
製品名	エンコーダ付1,000p/rモータ PSM40N-ET
駆動周波数	52~58 [KHz]
駆動電圧	130 [Vrms]
定格回転数	150[rpm]
最大回転数	250[rpm]
定格トルク	0.15 [N・m]
最大トルク	0.3 [N・m]
非通電時保持トルク	0.3 [N・m]
回転方向と応答性	CW, CCW, 応答性1 [ms]以下 (慣性負荷なし)
使用温度範囲	-10 ~ +55 [°C]
耐久時間	3,000 [Hours]
サイズ(W×D×H)	46×46×46 [mm]
質量	90[g]
エンコーダ分解能	1,000 [p/r]
最小位置決め精度	0.09°



PSM40N-ET2

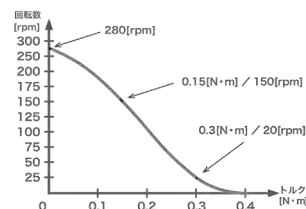


磁場環境用2,000p/rエンコーダ付小型モータ
1周で2,000パルスのTTL出力のエンコーダを装備。
3[T]の磁場環境で $\pm 0.045^\circ$ (4通[てい]倍時)の精度でモータの位置・速度制御が可能です。
MRI内や半導体製造装置で利用される超高精度な割り出し装置用モータとして最適です。



※ モータベース側に3-M3 PCD ϕ 28 深さ3.5mmの取付けネジ穴あり

製品名	エンコーダ付2,000p/rモータ PSM40N-ET2
駆動周波数	52~58 [KHz]
駆動電圧	130 [Vrms]
定格回転数	150[rpm]
最大回転数	250[rpm]
定格トルク	0.15 [N・m]
最大トルク	0.3 [N・m]
非通電時保持トルク	0.3 [N・m]
回転方向と応答性	CW, CCW, 応答性1 [ms]以下 (慣性負荷なし)
使用温度範囲	-10 ~ +55 [°C]
耐久時間	3,000 [Hours]
サイズ(W×D×H)	46×46×46 [mm]
質量	90[g]
エンコーダ分解能	2,000[p/r]
最小位置決め精度	0.045°



※PSM40 シリーズは受注生産となります。

DESIGN

SPEC

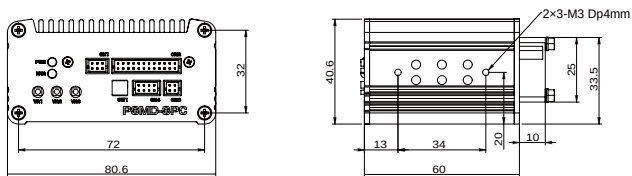
PSMD-SPC



2本のTTL信号でモータの回転方向を、0 ~ 3.2[V]のアナログ電圧でモータの速度を制御可能なアナログコントロールモデル。

エンコーダ搭載モータと組み合わせることで機器の速度を安定化させることが可能です。

超音波モータを外部アナログ電圧で等速コントロールする用途に最適です。



製品名	速度安定化機能付ドライバ PSMD-SPC
発振周波数 / 波形	20 [KHz] ~ 55 [KHz] / 合成正弦波
モータドライブ電圧	130 [Vrms] ~ 140 [Vrms]
可変速方式	アナログ電圧 (DC 0 [V] ~ 3.2 [V])
無負荷可変速範囲	1 [rpm] ~ モータの最高回転数
起動・停止操作	CW, CCW制御端子に対しスイッチ、外部信号により操作 (アクティブロー)
起動応答性	10 [ms] (モータ慣性負荷なし)
停止応答性	1 [ms]以下 (モータ慣性負荷なし)
使用温度範囲	-10 [°C] ~ +60 [°C]
電源電圧・消費電流	DC 24 [V] ± 0.5 [V] / 常用 1[A]、最大 2.5 [A]
過電流保護	復帰型過電流保護回路搭載
耐久時間	運転 10,000 [Hours] or 出荷後 1年 のどちらか短い期間
サイズ (W×D×H)	80 × 60 × 45 [mm] (ファンを除く)
質量	210[g]
備考	速度安定化機能付

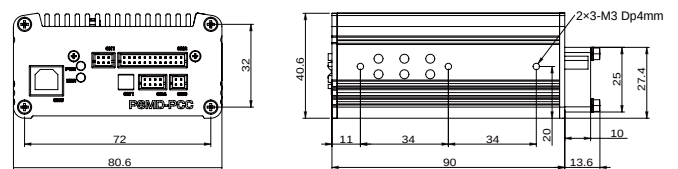
※ 出荷時に同シリアル番号のモータと対して調整しております。※ 一般環境用PSM60/40モータ、磁場環境用PSM60/40 Nモータ共に同一方法でコントロール可能です。

PSMD-PCC



PSMD-SPCの機能に加え、PCとUSB接続、SPI通信により外部からモータの回転方向、速度を直接操作するデジタルコントロールが可能なモデル。

回転方向制御用TTL信号や速度制御用アナログ電圧を入力することなしに、デジタル信号でモータの制御が可能。超音波モータを精密にコントロールする用途に最適です。



製品名	USB接続による高精度制御対応ドライバ PSMD-PCC
発振周波数 / 波形	20 [KHz] ~ 55 [KHz] / 合成正弦波
モータドライブ電圧	130 [Vrms] ~ 140 [Vrms]
可変速方式	アナログ電圧 (DC 0 [V] ~ 3.2 [V]) or USB接続、SPI通信によるデジタル信号制御
無負荷可変速範囲	0.1 [rpm] ~ モータの最高回転数
起動・停止操作	CW, CCW制御端子に対しスイッチ、外部信号により操作 (アクティブロー) or USB接続、SPI通信によるデジタル信号制御
起動応答性	10 [ms] (モータ慣性負荷なし)
停止応答性	1 [ms]以下 (モータ慣性負荷なし)
使用温度範囲	-10 [°C] ~ +60 [°C]
電源電圧・消費電流	DC 24 [V] ± 0.5 [V] / 常用 1[A]、最大 2.5 [A]
過電流保護	復帰型過電流保護回路搭載
耐久時間	運転 10,000 [Hours] or 出荷後 1年 のどちらか短い期間
サイズ (W×D×H)	80 × 90 × 45 [mm] (ファンを除く)
質量	300[g]
備考	USB接続あるいはSPI通信により操作可能

※ 出荷時に同シリアル番号のモータと対して調整しております。※ 一般環境用PSM60/40 Sモータ、磁場環境用PSM60/40 Nモータ共に同一方法でコントロール可能です。

ドライバの端子構成

PIN ASSIGNMENT

各ドライバにはその特徴にあわせて調整用のボリューム(VR1～VR3)や各種コネクタ(CN1～CN5)が装備されています。

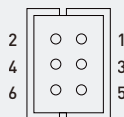
- VR1: 最低速度調整用ボリューム(PSMD-SPCのみ)
VR2: 最高速度調整用ボリューム(PSMD-SPCのみ)
VR3: CW、CCW速度バランス調整用ボリューム(PSMD-SPCのみ)

- CN1: 電源用コネクタ(全ドライバ)
CN2: モータ制御用コネクタ(全ドライバ)
CN3: モータ接続用コネクタ(全ドライバ)

- CN4: エンコーダ接続用コネクタ(全ドライバ)
CN5: PC接続用コネクタ(PSMD-PCCのみ)

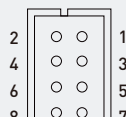
ご利用の際には各端子の情報をご確認ください、お間違いのないようご注意ください。

CN1



1. Main_power_入力(+24V)
2. Main_power_入力(+24V)
3. GND
4. GND
5. CASE
6. CASE

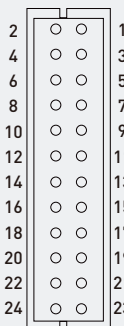
CN4



1. エンコーダ用電圧出力(+5V)
2. GND
3. エンコーダA相(+)入力
4. エンコーダA相(-)入力
5. エンコーダB相(+)入力
6. エンコーダB相(-)入力
7. エンコーダZ相(+)入力
8. エンコーダZ相(-)入力

赤
黒
青
緑
白
灰
黄
橙

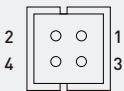
CN2



1. リファレンス電圧出力(3.3V)
2. 速度指定電圧入力
3. GND
4. 回転方向指示: CW
5. 回転方向指示: CCW
6. GND
7. SPI_CS入力
8. SPI_CLK入力
9. SPI_DT入力
10. SPI_DT出力
11. BOOSTモード入力
12. GND

13. PWM_code_02入力(オプション)
14. PWM_code_01入力(オプション)
15. PWM_code_00入力(オプション)
16. PWM_SEL_入力(オプション)
17. ERROR_出力
18. AUX_01_入力(オプション)
19. AUX_00_入力(オプション)
20. GND
21. エンコーダA相(+)出力(エンコーダ接続時のみ)
22. エンコーダB相(+)出力(エンコーダ接続時のみ)
23. --
24. --

CN3



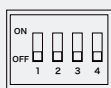
1. Sin信号出力 赤
2. Cos信号出力 白
3. FB号入力 黄
4. GND 黒

CN5



1. --
2. - Data
3. + Data
4. GND

SW1



- ◎エンコーダなし(速度制御なし)
1: OFF、2: OFF、3: OFF、4: OFF
- ◎シングルモード エンコーダ
- ・PSM60* - E
1: ON、2: OFF、3: OFF、4: OFF
 - ・PSM60* - ET
1: ON、2: OFF、3: OFF、4: ON
 - ・PSM60* - E2T
1: ON、2: OFF、3: ON、4: OFF

- ◎デファレンシャルモード エンコーダ
- ・PSM60* - E
1: ON、2: ON、3: OFF、4: OFF
 - ・PSM60* - ET
1: ON、2: ON、3: OFF、4: ON
 - ・PSM60* - E2T
1: ON、2: ON、3: ON、4: OFF
 - ・PSM60* - E36
1: ON、2: ON、3: ON、4: ON

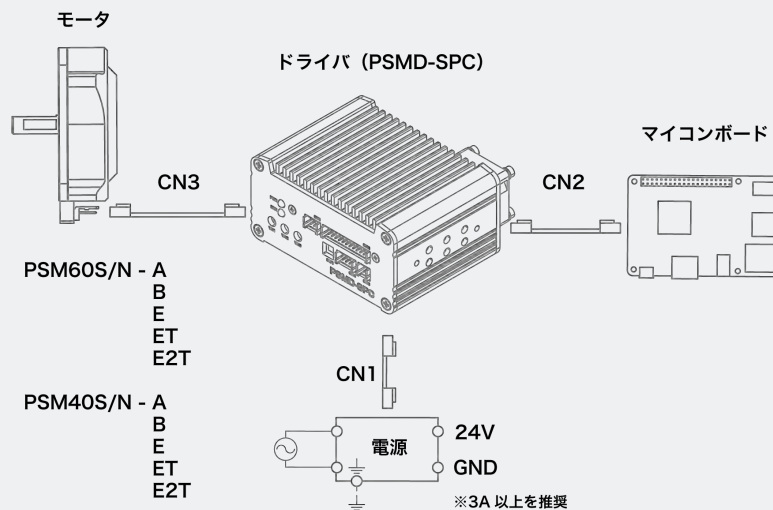
モータとドライバの接続方法

CONNECTION

PSMD-SPC[1]

エンコーダ信号無し、
制御ボードを利用した簡易動作

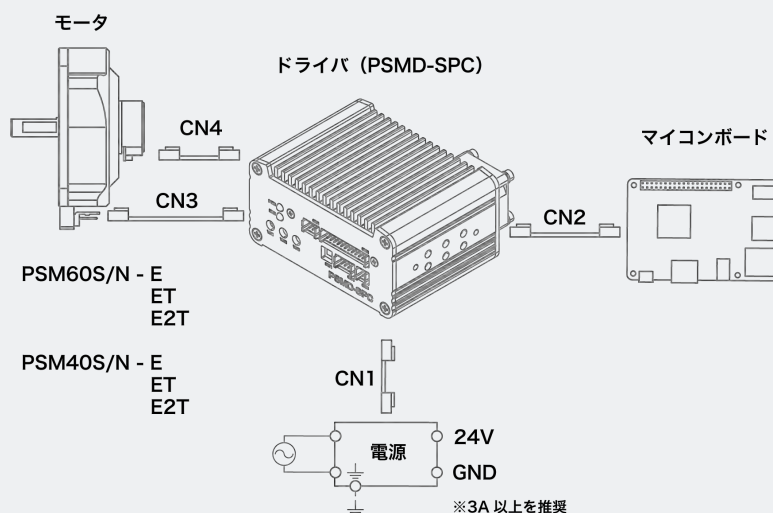
CN1にDC24V電源、CN2にモータの回転方向 (CW / CCW)・停止状態を制御するTTL信号レベルの信号 (2本:アクティブロー)、速度変化のためのDC0V ~ 3.2Vのアナログ信号を入力します。CN3をモータの信号入力端子に接続します。モータの制御に必要な信号はマイコンボードのポートとアナログ電圧出力を利用していただくか、スイッチと半固定抵抗を利用することが可能です。モータにエンコーダがないため、CN4は利用しません。



PSMD-SPC[2]

エンコーダ信号による速度制御

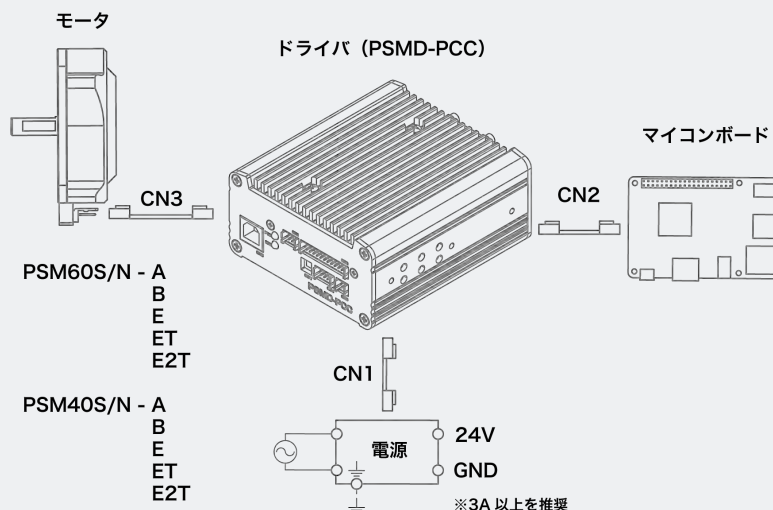
CN1にDC24V電源、CN2にモータの回転方向 (CW / CCW)・停止状態を制御するTTL信号レベルの信号 (2本:アクティブロー)、速度変化のためのDC0V ~ 3.2Vのアナログ信号を入力します。CN3をモータの信号入力端子に接続します。CN4をモータのエンコーダ信号端子に接続します。エンコーダ信号を利用した速度の安定化機能により外部のマイコンボードでの速度制御なしに、速度指定端子に一定電圧を加えてモータの回転速度の維持が可能です。



PSMD-PCC[1]

エンコーダ信号無し、
制御ボードを利用した簡易動作

CN1にDC24V電源、CN2にモータの回転方向 (CW / CCW)・停止状態を制御するTTL信号レベルの信号 (2本:アクティブロー)、速度変化のためのDC0V ~ 3.2Vのアナログ信号を入力します。CN3をモータの信号入力端子に接続します。モータの制御に必要な信号はマイコンボードのポートとアナログ電圧出力を利用していただくか、スイッチと半固定抵抗を利用することが可能です。CN4、CN5は利用しません。



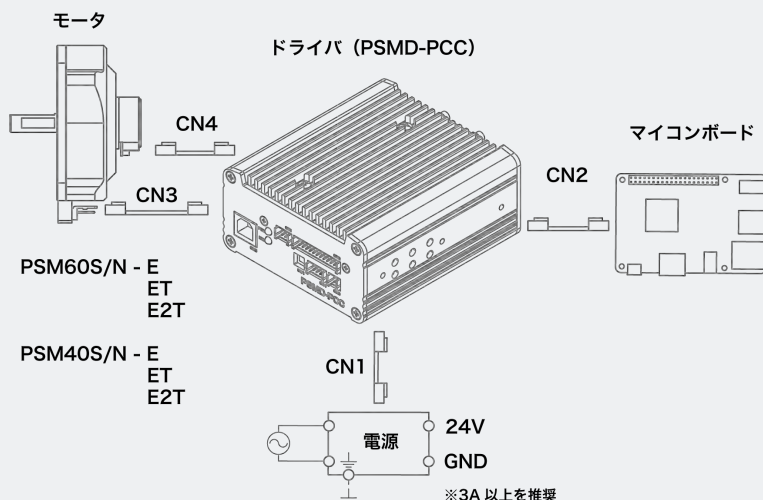
モータとドライバの接続方法

CONNECTION

PSMD-PCC[2]

エンコーダ信号による速度制御

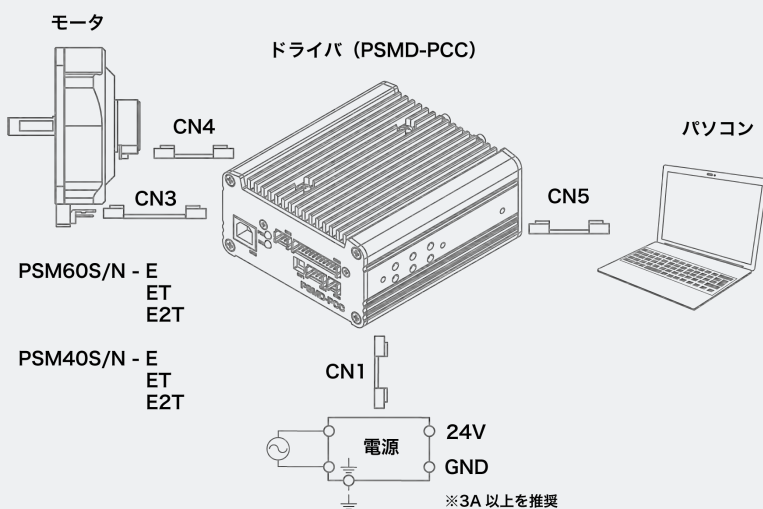
CN1にDC24V電源、CN2にモータの回転方向 (CW / CCW)・停止状態を制御するTTL信号レベルの信号 (2本:アクティブロー)、速度変化のためのDC0V ~ 3.2Vのアナログ信号を入力します。CN3をモータの信号入力端子に接続します。CN4をモータのエンコーダ信号端子に接続します。エンコーダ信号を利用した速度の安定化機能により外部のマイコンボードでの速度制御なしに、速度指定端子に一定電圧を加えてモータの回転速度の維持が可能です。CN5は利用しません。



PSMD-PCC[3]

エンコーダ信号・PCによる速度制御

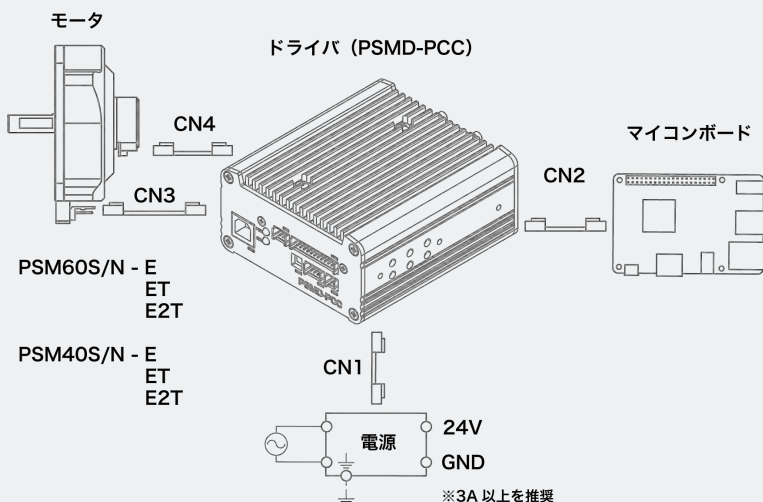
CN1にDC24V電源を接続します。CN2は利用しません。CN3をモータの信号入力端子に接続します。CN4をモータのエンコーダ信号端子に接続します。CN5をPCのUSB端子に接続します。モータの回転方向 (CW / CCW)・停止状態の制御や、速度変化のための制御指示はUSB経由で伝えることができます。アナログ電圧の制御信号が必要ないため、マイコンボードなど周辺装置を用意することなく、簡単にモータを操作することが可能です。



PSMD-PCC[4]

マイコン・制御機器とSPI通信を利用したモータ操作

CN1にDC24V電源、CN2を利用してマイコンやPLCとSPI方式による通信が可能です。CN3をモータの信号入力端子に接続します。CN4をモータのエンコーダ信号端子に接続します。CN5は利用しません。モータの回転方向や速度をコマンドでコントロールすることが可能なため、既存のシステムを利用してデジタル信号でモータを操作することが可能です。



よくある質問

FAQ

Q 商品はどこで買えますか？

- A 弊社の製品のご購入方法は3つあります。
1. 弊社提携商社様からのご購入
 2. WEB (公式オンラインストア、Yahoo!ショッピング) でのオンライン購入
 3. 弊社に直接ご連絡いただきご購入
数量割引をご希望の場合は弊社提携商社様もしくは弊社へのご連絡をお願い致します。

Q 商品の注文方法を教えてください。

- A ご購入方法により注文方法が異なります。
WEBからのご購入の場合には必要な数量を公式オンラインストア、またはYahoo!ショッピングサイトよりご注文ください。弊社で情報を確認次第、納期をご返答させていただきます。弊社提携商社様もしくは弊社からの直接購入の場合にはお見積りをご依頼ください。弊社に直接ご依頼いただく場合には、メールかお問い合わせフォームをご利用ください。弊社で情報を確認次第、ご返答させていただきます。

Q 1個から注文可能ですか？

- A 弊社の製品は全て1個からご購入いただけます。

Q ドライバはどれを選べいいですか？

- A マイコンやPLC、外部抵抗等を利用してモータをアナログ制御する場合には、PSMD-SPCを推奨致します。
PCやマイコン、PLCからUSB接続やSPI通信によるモータのデジタル制御をご希望の場合には、PSMD-PCCを推奨致します。

Q シリアル番号の異なるモータとドライバを組み合わせることは出来ますか？

- A PSMD-SPC・PSMD-PCCは、スイッチの切替えによるエンコーダの有無・分解能に合わせた設定変更が可能なため、ご利用いただけます。
ただし、エンコーダ無しのモータ(***- A/ B)をご利用の場合にはドライバの速度安定化機能はご利用いただけません。
シリアル番号が異なるモータやドライバを組み合わせる場合には、最低速度・最高速度の調整を推奨致します。

Q 耐久時間は、どのように算出されますか？

- A 出荷時の特性に対し、最高トルクが60%にまで落ちた状態を弊社ではモータの寿命と考えております。そのため、お客様の使用条件が定格トルク(最高トルクの50%)以下で計算されている場合、弊社の保証時間を超える装置の動作時間を実現することが可能です。

Q 真空環境で利用することはできますか？

- A 弊社の超音波モータは真空中でも動作が可能です。しかし、真空環境では摩擦の状態が悪くなるため、寿命が短くなる可能性が考えられます。一般環境での利用とは異なるため、動作は保証しておりません。

Q 利用環境や保存環境で、特別に注意することはありますか？

- A 超音波モータは摩擦を利用して回転しているため、摩擦の状態が大きく変わってしまうことを避ける必要があります。たとえば、水中・高湿・高温環境(湿度:60%以上、温度:65℃以上)での利用はお控えください。

Q DCモータ等との違いは何ですか？

- A 同じトルクのDCモータと比較した場合、超音波モータはサイズが1/5～1/10倍、小型になります。またそれに伴い重量も軽くなります。動作中の音についても超音波モータは非常に静音です。保持力により非通電時、非制御の状態であっても電力0で姿勢・角度を維持できることも超音波モータの大きな特徴です。

Q 超音波モータの特徴(メリット)は何ですか？

- A 超音波モータは小型・高トルク・静音・磁場環境で利用できる非磁性に対応したモータです。既存のモータを超音波モータに変えることで、電力ゼロで装置の状態を保つことが出来るため、装置全体の小型化・低消費電力化が期待できます。また、MRIや半導体製造装置、元素分析器など磁場の発生を嫌う製品に対して安心してご利用頂くことができます。

Q 超音波モータのデメリットは何ですか？

- A 弊社の超音波モータは従来の超音波モータに比べて長寿命ですが、超音波モータは一般的にDCモータやステッピングモータと比べると寿命という点においては優位性がありません。

Q 利用可能なケーブルは何mですか？

- A 標準のケーブル長は3mです。最長30mまでのモータケーブルに対応しています。(弊社純正品に限りです)

Q 特注対応は可能ですか？

- A シャフトの長さ変更や直径の変更は1個から対応させていただきます。
フルカスタム品の製作も可能です。お問い合わせフォームより仕様についてご連絡ください。

Q 購入時期によりモータ・ドライバの外観色が若干異なる製品があるようです

- A 製造時の材料・染色材料のわずかな違いによって製品の外観・色味、風合いが変わる場合がございます。
出荷時に特性計測を行っておりますので、製品の保証に違いはございません。

Q USB・SPI通信時のコマンドリストはありますか？

- A コマンドリストをご用意しています。弊社まで直接お問い合わせください。



トルク型超音波モータと自律ロボットの開発なら

株式会社 Piezo Sonic

本社 〒157-0063
東京都世田谷区粕谷 1-15-5

中央事業所 〒143-0013
東京都大田区大森南 4-6-15
テクノFRONT森ヶ崎 507

秋葉原オフィス 〒101-0022
東京都千代田区神田練堀町 3
富士ソフト秋葉原ビル
DMM.make 12F 2505

TEL 03-6379-6020

WEB <https://www.piezo-sonic.com/>

E-mail info@piezo-sonic.com